

第4回富谷市介護保険運営委員会	
R8.3.16	資料1

富谷市高齢者保健福祉計画・ 第10期介護保険事業計画

実態把握調査概要について

令和8年2月28日現在

令和8年3月16日

富谷市保健福祉部

長寿福祉課

・・・目次・・・

1 調査概要について	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査実施期間	1
(4) 調査方法	1
(5) 回答状況	1
(6) 回答方法	1
(7) 調査項目数	2
2 調査結果概要について	3
【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】	3
(1) 健康づくり、介護予防について.....	3
(2) 認知症及び介護の相談窓口について.....	5
(3) 認知症施策について.....	6
(4) 外出の状況	7
(5) 今後の暮らしについて.....	8
【在宅介護実態調査】	9
(1) 介護について	9
【第2号被保険者ニーズ調査】	11
(1) 健康づくり・介護予防について.....	11
(2) 相談窓口などについて.....	12
(3) 将来の生活（介護の考え方を含む）について.....	12
【介護人材実態調査】	13
(1) 事業所の現状及び今後の課題等について.....	13
3 今後の分析方針について	14
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	14
(2) 在宅介護実態調査.....	14
(3) 第2号被保険者ニーズ調査.....	14
(4) 介護人材実態調査.....	15
(5) その他	15

1 調査概要について

(1) 調査目的

老人福祉法（昭和 38 年法律 133 号）第 20 条の 8 第 1 項に規定する「市町村老人福祉計画」及び介護保険法（平成 9 年法律第 123 号）第 117 条第 1 項に規定する「市町村介護保険事業計画」を策定するにあたり、市民の生活実態等についてアンケート調査等を実施し、それに基づいた課題分析とニーズ等を把握することにより、令和 9 年度を始期とする「富谷市高齢者保健福祉計画・第 10 期介護保険事業計画」策定の基礎資料とすることを目的とする。

なお、次期計画の期間は、令和 9 年度から令和 11 年度（2027～2029 年度）の 3 年間で予定とする。

(2) 調査対象

調査名	対象者
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（65 歳以上）	市内在住の 65 歳以上で要介護認定を受けていない方の中から 1,500 名を無作為に抽出。（要支援・事業対象者は含む）
②在宅介護実態調査（認定者及び家族）	市内在住の 65 歳以上で要支援・要介護認定者の中から 500 名を無作為に抽出。
③第 2 号被保険者ニーズ調査（40～64 歳）	市内在住の 40～64 歳で要支援・要介護認定を受けていない方の中から 800 名を無作為に抽出。
④介護人材実態調査（事業所調査）	市内に住所を有する介護サービスの全事業所を抽出。（複数のサービス指定を受けている場合は指定数でカウント）

※調査基準日：令和 7 年 12 月 1 日（月）

(3) 調査実施期間

令和 8 年 1 月 15 日（木）～令和 8 年 1 月 31 日（土）

(4) 調査方法

郵送配付・郵送回収（web 併用）

(5) 回答状況

令和 8 年 2 月末現在

調査名	対象者数	配布数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	10,308	1,500	1,243	82.9%
②在宅介護実態調査	1,313	500	350	70.0%
③第 2 号被保険者ニーズ調査	18,311	800	503	62.9%
④介護人材実態調査	61	61	52	85.2%

※①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査については、1 圏域 500 件×3 圏域で算出。

(6) 回答方法

令和 8 年 2 月末現在

調査名	回収数	郵送/窓口	web	web 回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,243	1,102	141	11.3%
②在宅介護実態調査	350	304	46	13.1%
③第 2 号被保険者ニーズ調査	503	270	233	46.3%
④介護人材実態調査	52	45	7	13.5%

(7) 調査項目数 ※枝番設問は含めない。

調査名	必須項目	オプション項目	市独自項目	合計
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	35	14	31	80
②在宅介護実態調査（A票・B票）	15	9	29	53
③第2号被保険者ニーズ調査			50	50
④介護人材実態調査（共通・種別）				23

※「①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「②在宅介護実態調査」について、必須項目、オプション項目の一部の回答結果を厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」に登録するため別途データを作成。

※「②在宅介護実態調査」のA票は本人について、B票は介護者（家族）について調査。

※「④介護人材実態調査」については国標準例を参考に設定。

○第9期介護保険事業計画実態調査（令和5年1月16日～1月31日実施）

調査名	対象者数	配布数	有効回答数	回答率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	9,943	1,500	1,203	80.2%
③在宅介護実態調査	1,157	500	380	76.0%
③第2号被保険者ニーズ調査	18,816	800	504	63.0%
④介護人材実態調査	61	61	42	68.9%

○関連法令

①介護保険法 第117条第1項（市町村介護保険事業計画）

市町村は、基本指針に即して、3年を1期とする当該市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画を定めるものとする。

②老人福祉法 第20条の8第1項（市町村老人福祉計画）

市町村は、老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業の供給体制の確保に関する計画を定めるものとする。

③共生社会の実現を推進するための認知症基本法 第13条（市町村認知症施策推進計画）※第9期介護保険事業系計画に包含。

市町村は、基本計画を基本とするとともに、当該市町村の実情に即した市町村認知症施策推進計画を策定するよう努めなければならない。

市町村計画は、社会福祉法第107条第1項に規定する「市町村地域福祉計画」、老人福祉法第20条の8第1項に規定する「市町村老人福祉計画」、介護保険法第117条第1項に規定する「市町村介護保険事業計画」その他の法令の規定による計画であって認知症施策に関連する事項を定めるものと調和が保たれたものでなければならない。

2 調査結果概要について

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

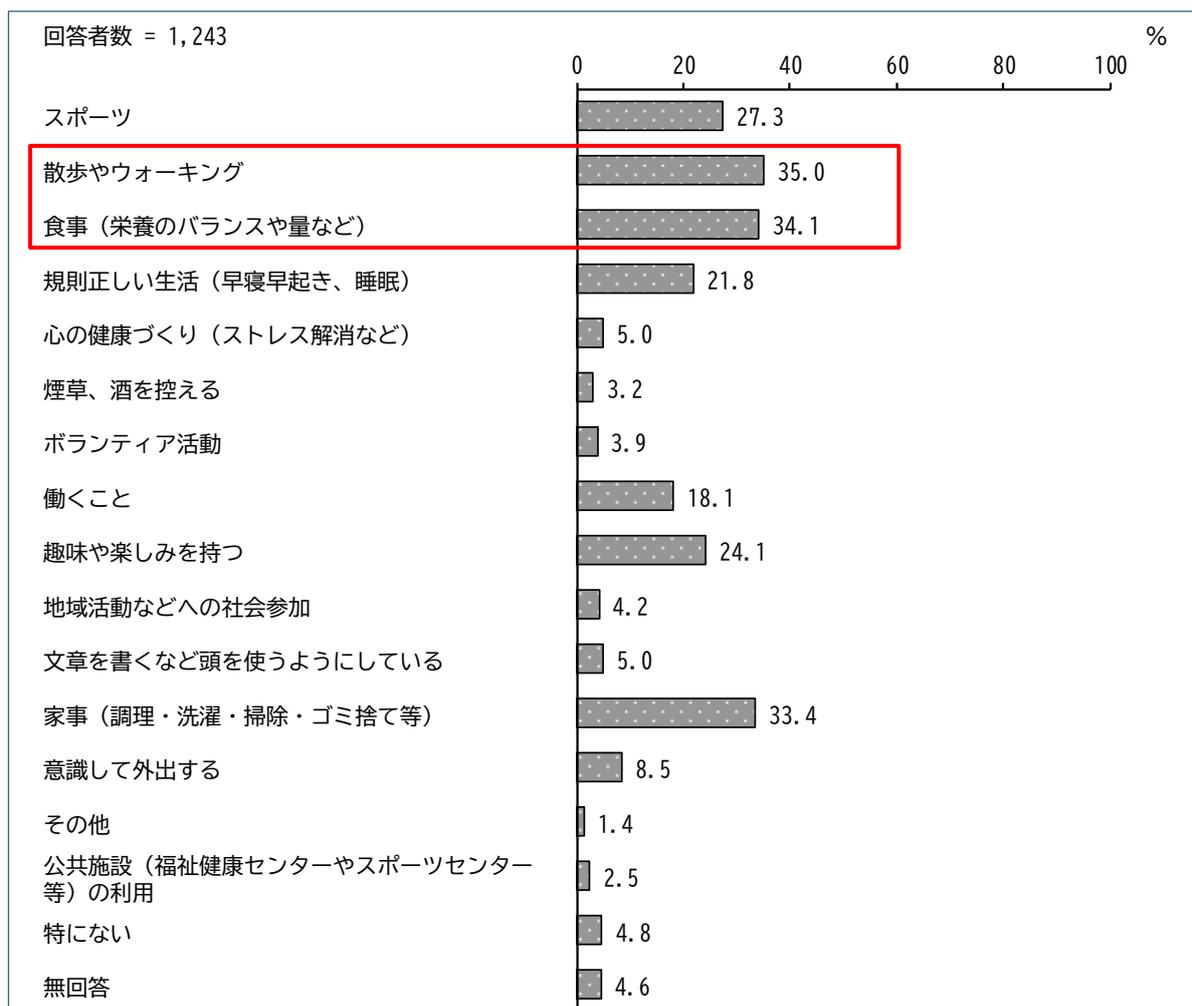
(1) 健康づくり、介護予防について

① 健康を維持するための取組状況

問 介護予防や健康のため、取り組んでいることはありますか。(〇は3つまで)

調査表：問2「からだを動かすことについて」(11)

「散歩やウォーキング」の割合が35.0%と最も高く、次いで「食事(栄養のバランスや量など)」の割合が34.1%、「家事(調理・洗濯・掃除・ゴミ捨て等)」の割合が33.4%となっています。

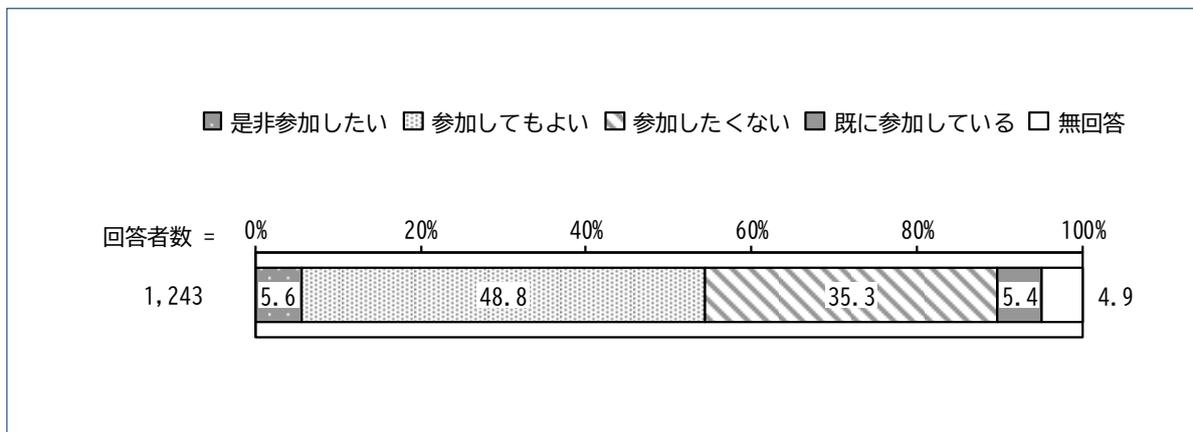


② 介護予防の取組意向

問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

調査表：問5「地域での活動について」(2)

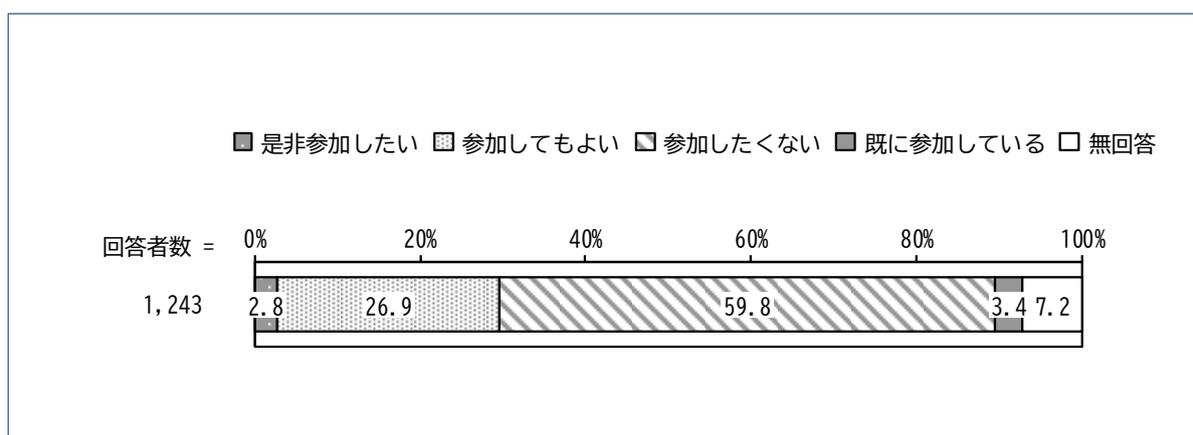
「参加してもよい」の割合が48.8%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が35.3%となっています。



問 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

調査表：問5「地域での活動について」(3)

「参加したくない」の割合が59.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が26.9%となっています。



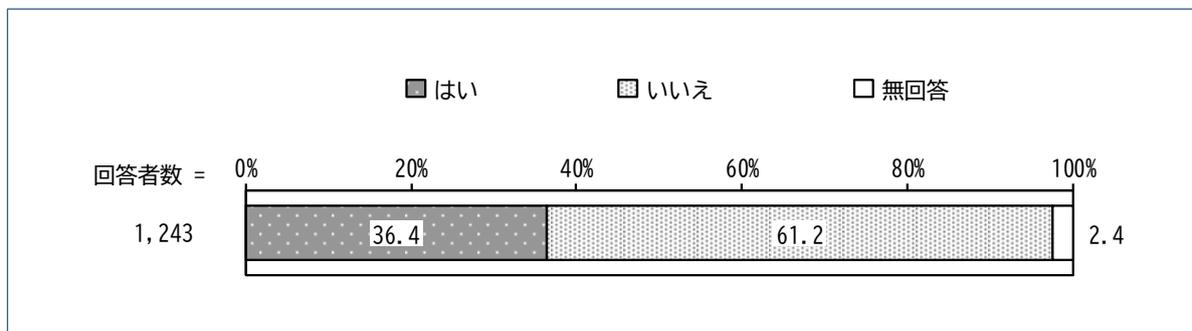
(2) 認知症及び介護の相談窓口について

① 認知症に関する相談窓口について

問 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

調査表：問10「認知症について」(2)

「はい」の割合が36.4%、「いいえ」の割合が61.2%となっています。

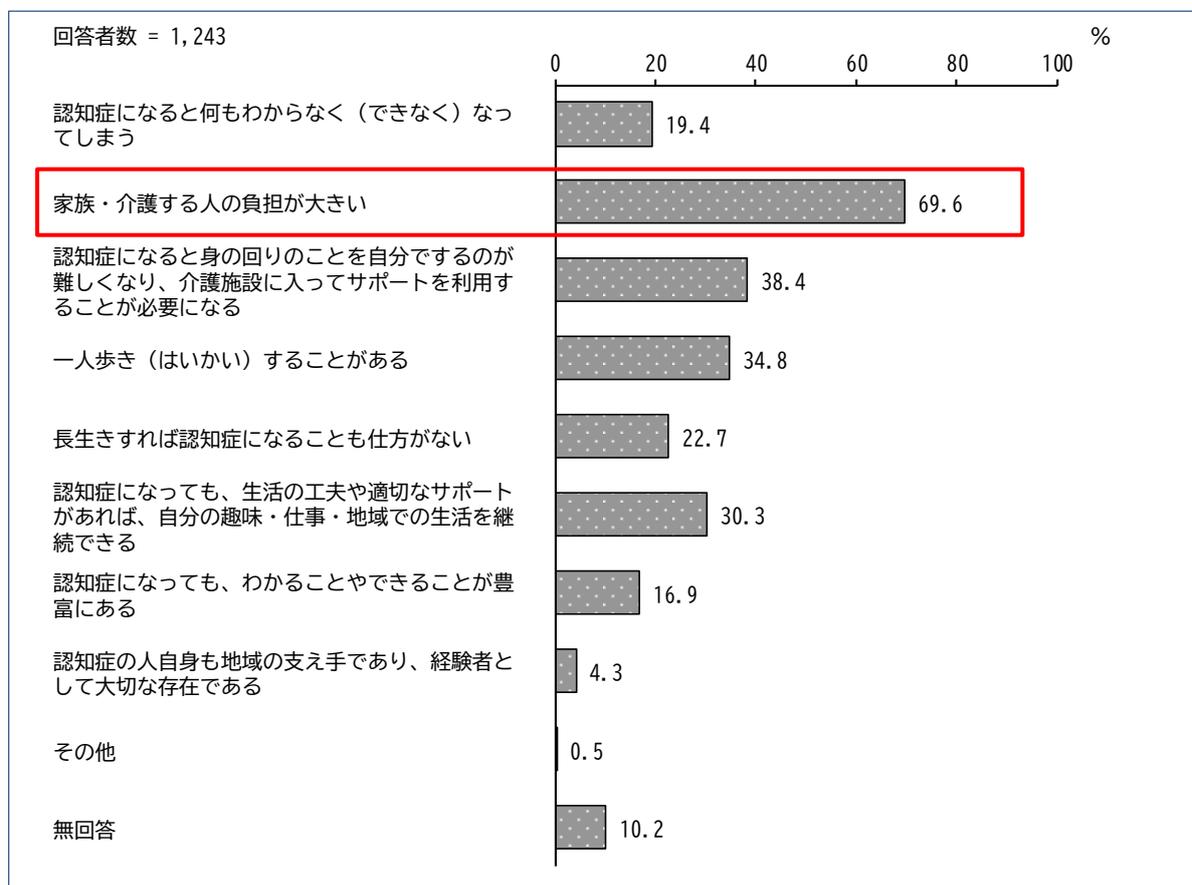


② 認知症に対するイメージについて

問 あなたが思う認知症のイメージを教えてください。(○は3つまで)

調査表：問10「認知症について」(5)

「家族・介護する人の負担が大きい」の割合が69.6%と最も高く、次いで「認知症になると身の回りのことを自分でするのが難しくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」の割合が38.4%、「一人歩き(はいかい)することがある」の割合が34.8%となっています。



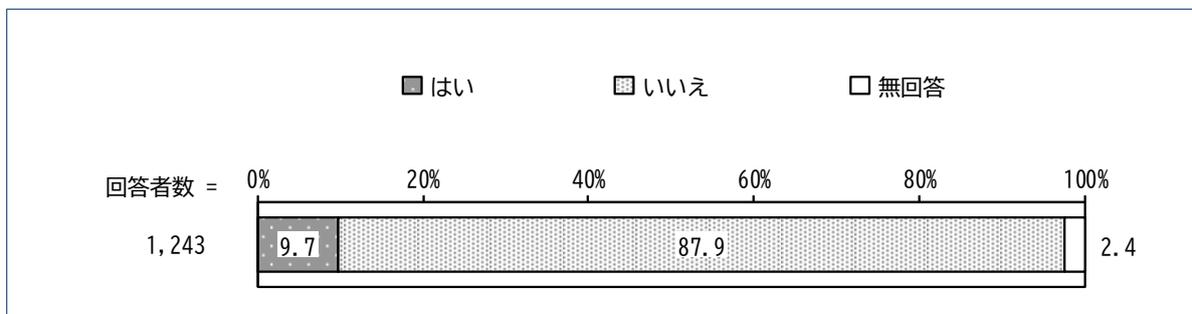
(3) 認知症施策について

① 認知症のある人の有無

問 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

調査表：問10「認知症について」(1)

「はい」の割合が9.7%、「いいえ」の割合が87.9%となっています。

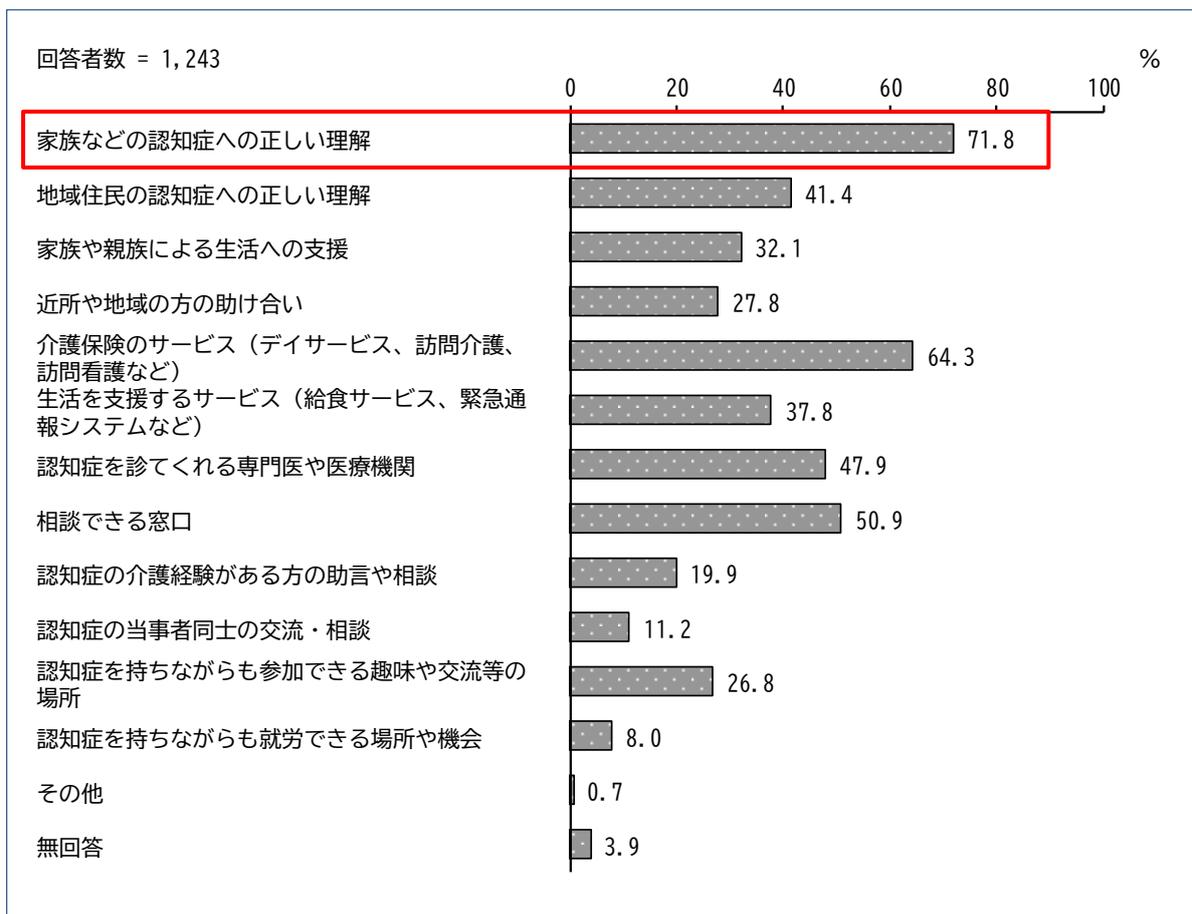


② 認知症になっても安心して生活するために必要なこと

問 今後、認知症の方が増加することが予想されますが、認知症になっても安心して生活するために必要なことは、どのような事と思いますか。(○はいくつでも)

調査表：問10「認知症について」(10)

「家族などの認知症への正しい理解」の割合が71.8%と最も高く、次いで「介護保険のサービス(デイサービス、訪問介護、訪問看護など)」の割合が64.3%、「相談できる窓口」の割合が50.9%となっています。



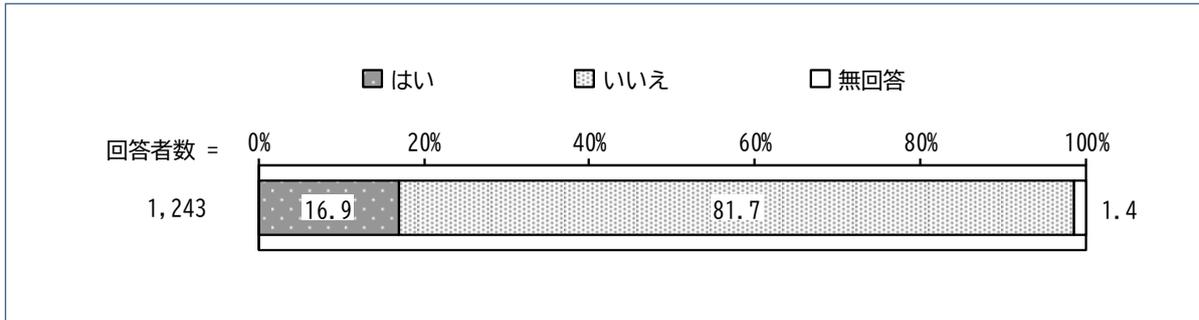
(4) 外出の状況

① 外出の状況

問 外出を控えていますか。(○は1つ)

調査表：問2「からだを動かすことについて」(8)

「はい」の割合が16.9%、「いいえ」の割合が81.7%となっています。

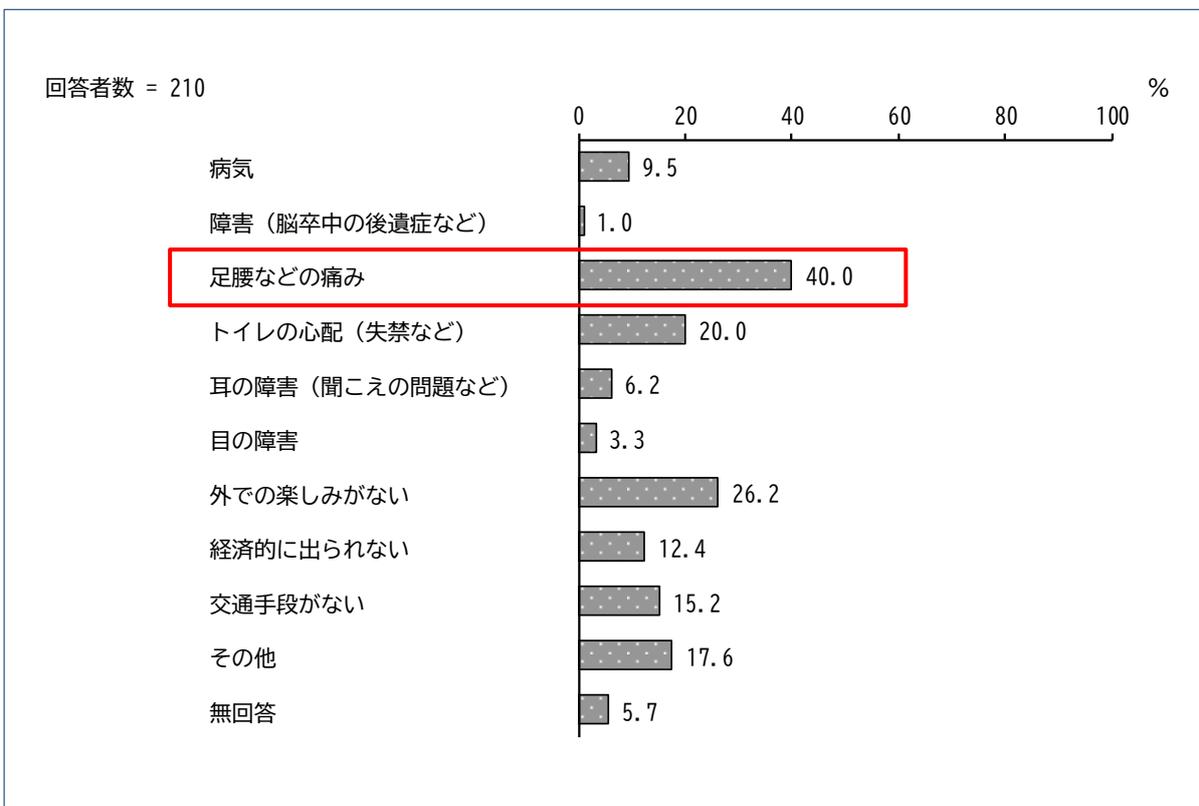


② 外出を控えている理由

問 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

調査表：問2「からだを動かすことについて」(8) ①

「足腰などの痛み」の割合が40.0%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」の割合が26.2%、「トイレの心配(失禁など)」の割合が20.0%となっています。



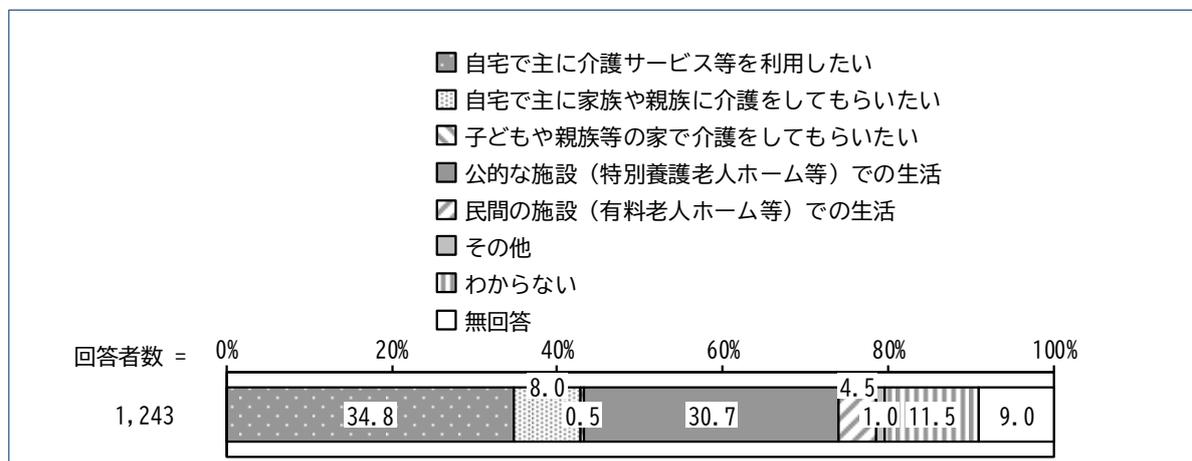
(5) 今後の暮らしについて

① 今後の生活の意向

問 あなた自身に介護が必要となった場合に、どのような介護を受けながら生活したいと思いますか。(〇は1つ)

調査表：問11「今後の生活について」(1)

「自宅で主に介護サービス等を利用したい」の割合が34.8%と最も高く、次いで「公的な施設（特別養護老人ホーム等）での生活」の割合が30.7%となっています。

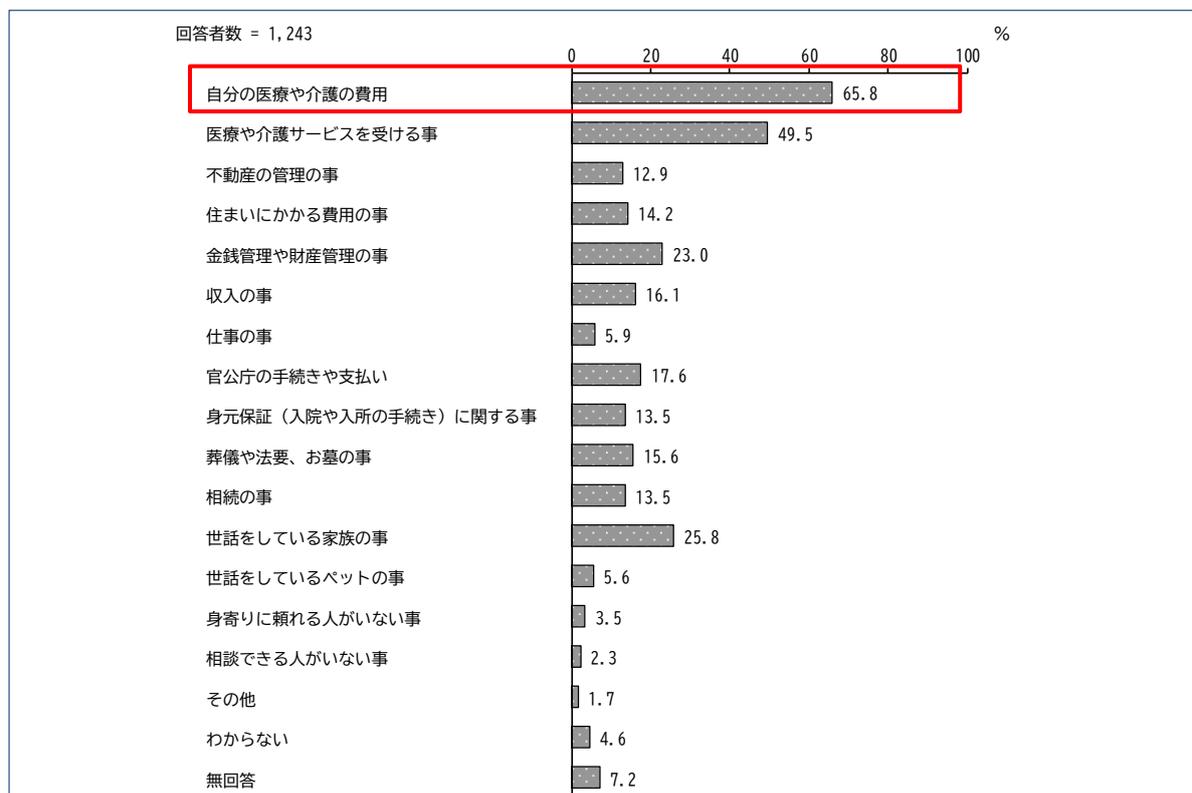


② 安心した生活について

問 もしあなたが病気や加齢により判断能力が低下した時、安心した生活を送るうえで、気になっていることや心配なことがあれば、教えてください。(〇はいくつでも)

調査表：問11「今後の生活について」(3)

「自分の医療や介護の費用」の割合が65.8%と最も高く、次いで「医療や介護サービスを受ける事」の割合が49.5%、「世話をしている家族の事」の割合が25.8%となっています。



【在宅介護実態調査】

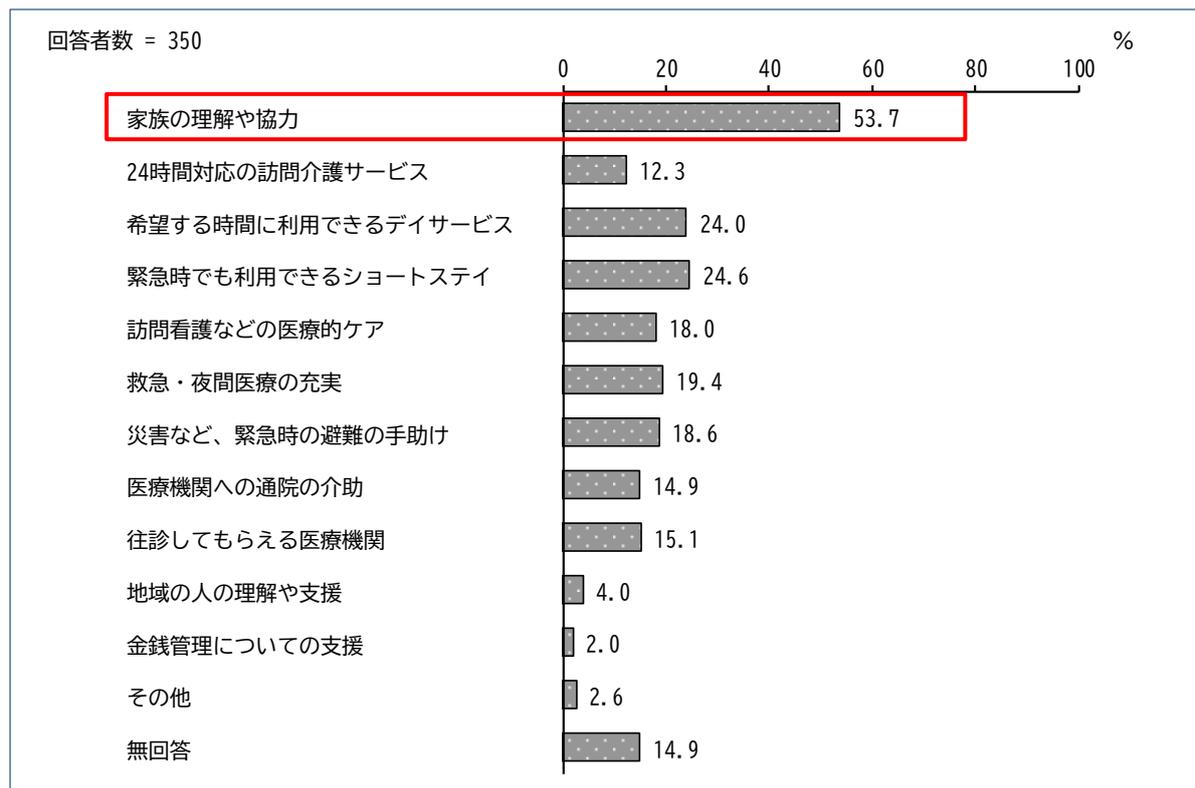
(1) 介護について

① 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問 ご本人（要介護者）が、ご自宅で生活を続けるために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

調査表：A票（問22）

「家族の理解や協力」の割合が53.7%と最も高く、次いで「緊急時でも利用できるショートステイ」の割合が24.6%、「希望する時間に利用できるデイサービス」の割合が24.0%となっています。

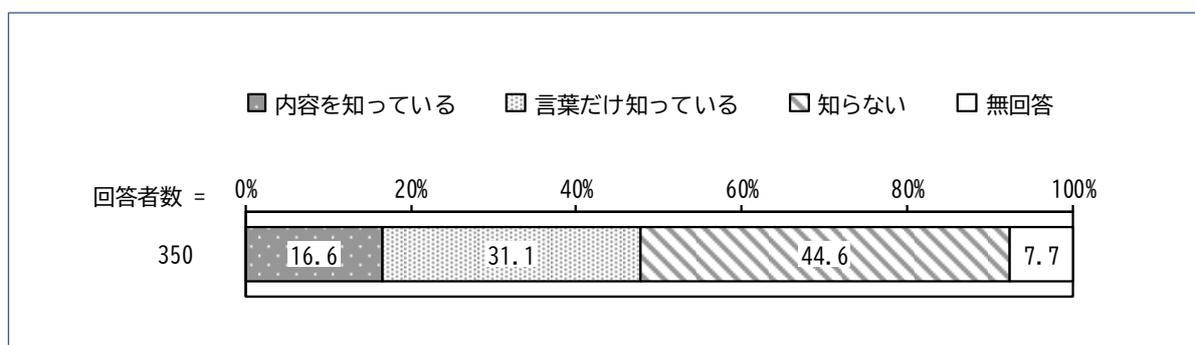


② 成年後見人制度について

問 ご本人（要介護者）は、「成年後見制度」について、知っていますか。

調査表：A票（問20）

「内容を知っている」の割合が16.6%、「言葉だけ知っている」の割合が31.1%、「知らない」の割合が44.6%となっています。

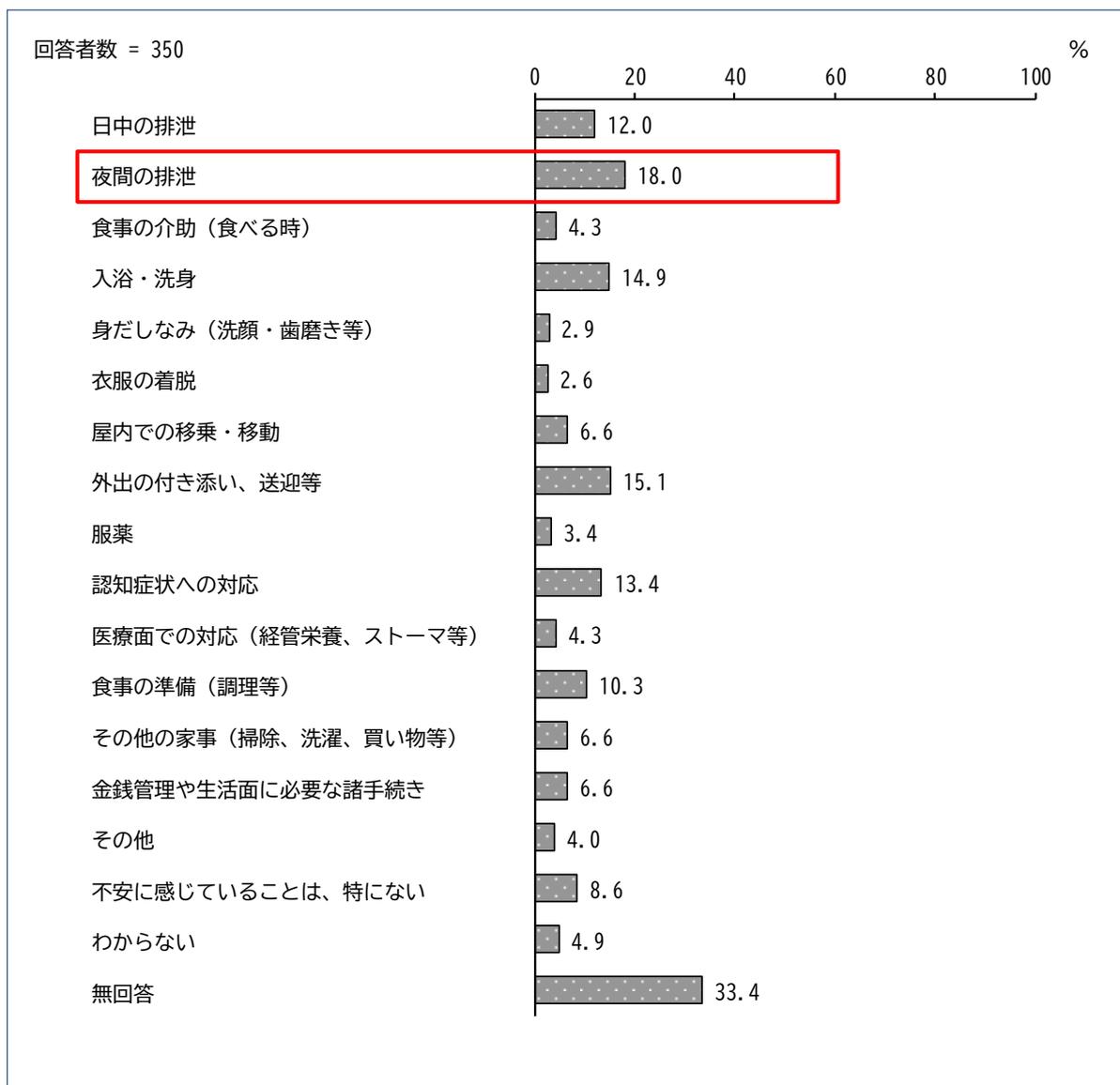


③ 主な介護者が不安に感じる介護等

問 (在宅生活を送る要介護者を介護している) 現在の生活を今後も続けていくためには、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか。(〇は3つまで)

調査表：B票 (問8)

「夜間の排泄」の割合が18.0%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が15.1%、「入浴・洗身」の割合が14.9%となっています。



【第2号被保険者ニーズ調査】

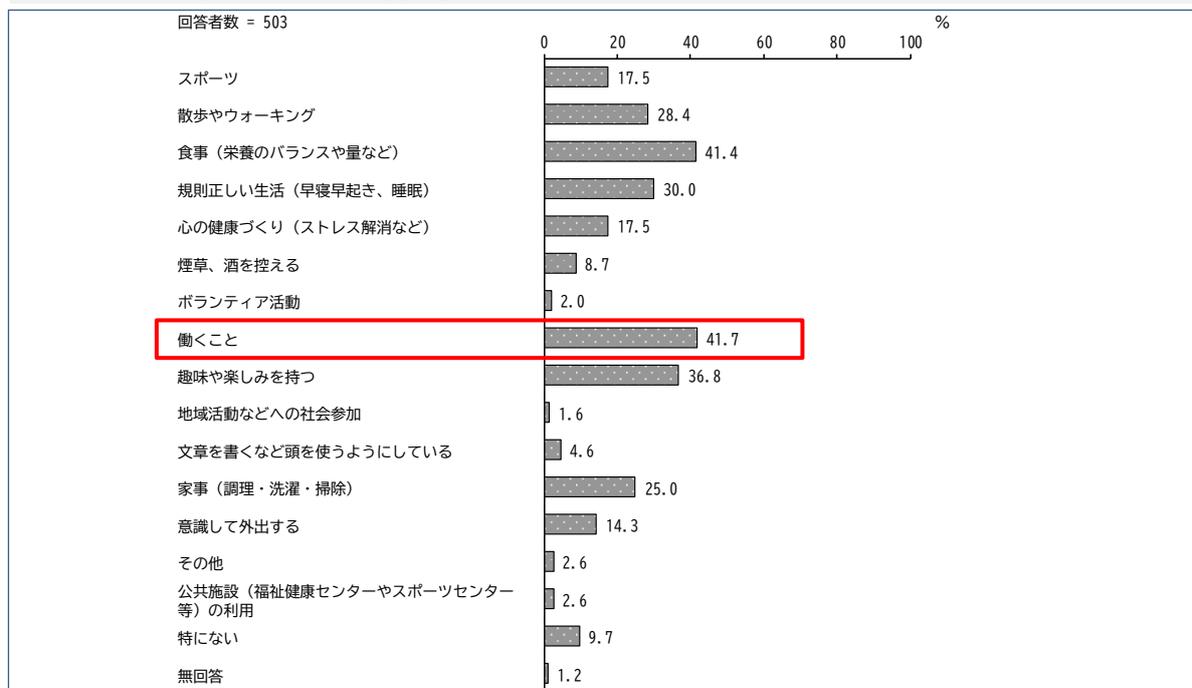
(1) 健康づくり・介護予防について

① 健康づくりや介護予防のため取り組んでいること

問 健康づくりや介護予防のため、取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

調査表：「あなた自身の健康状況について」問9

「働くこと」の割合が41.7%と最も高く、次いで「食事(栄養のバランスや量など)」の割合が41.4%、「趣味や楽しみを持つ」の割合が36.8%となっています。

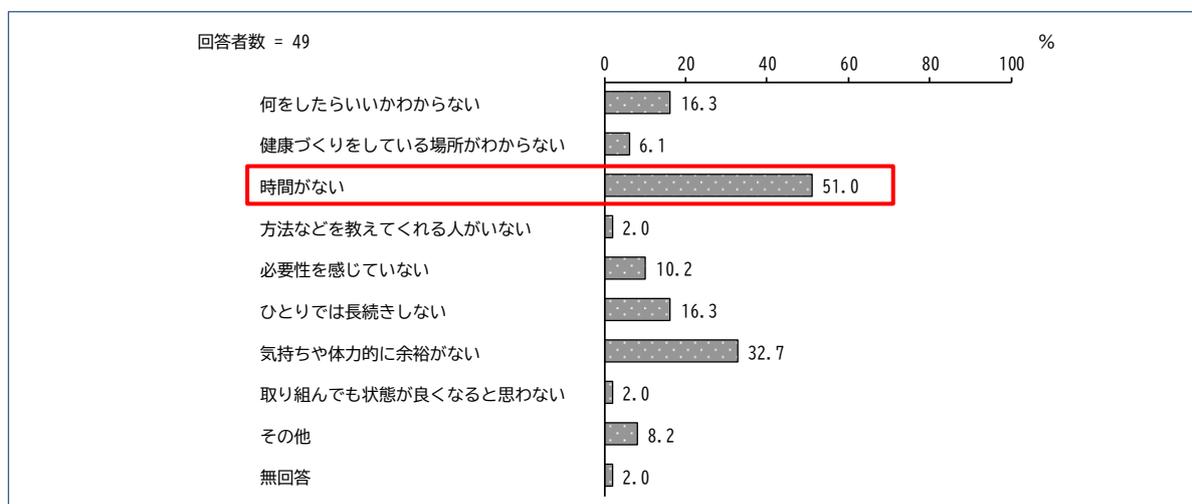


①問9で「特にない」と回答した方

問 取り組んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

調査表：「あなた自身の健康状況について」問9①

「時間がない」の割合が51.0%と最も高く、次いで「気持ちや体力的に余裕がない」の割合が32.7%、「何をしたらいいかわからない」、「ひとりでは長続きしない」の割合が16.3%となっています。



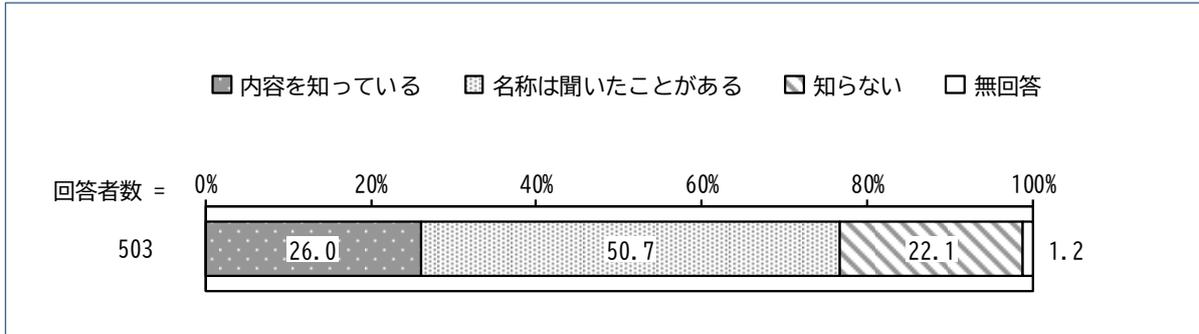
(2) 相談窓口などについて

① 介護保険制度について

問 あなたは介護保険制度の内容について、知っていますか。(○は1つ)

調査表：「相談窓口などについて」問 37

「内容を知っている」の割合が26.0%、「名称は聞いたことがある」の割合が50.7%、「知らない」の割合が22.1%となっています。



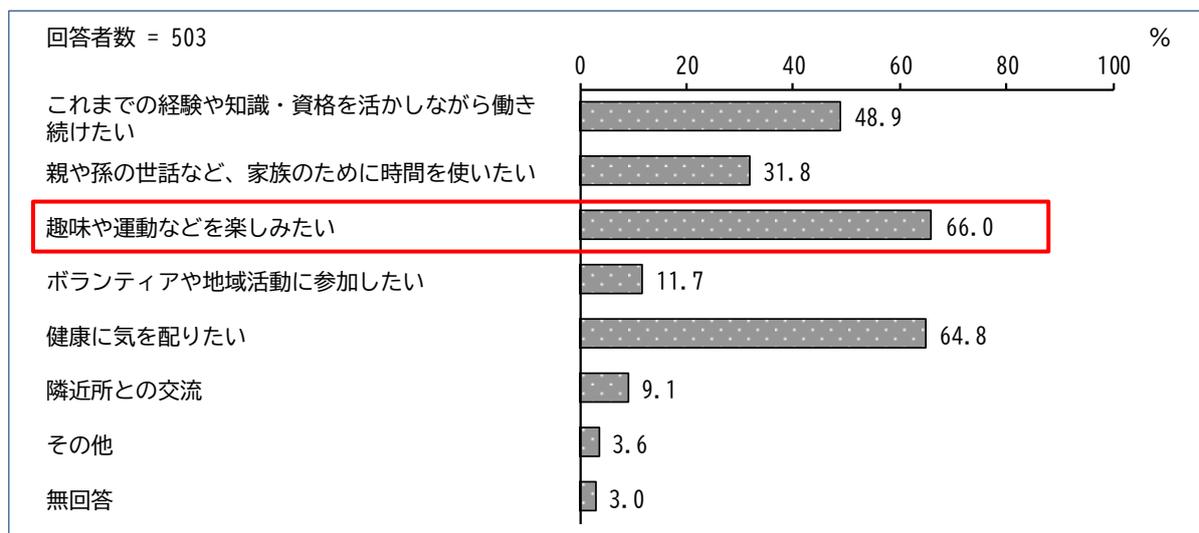
(3) 将来の生活（介護の考え方を含む）について

① 65歳以降の生活の希望

問 あなたは65歳以降の生活をどのように過ごしたいと考えていますか。(○はいくつでも)

調査表：「将来の生活について」問 41

「趣味や運動などを楽しみたい」の割合が66.0%と最も高く、次いで「健康に気を配りたい」の割合が64.8%、「これまでの経験や知識・資格を活かしながら働きたい」の割合が48.9%となっています。



【介護人材実態調査】

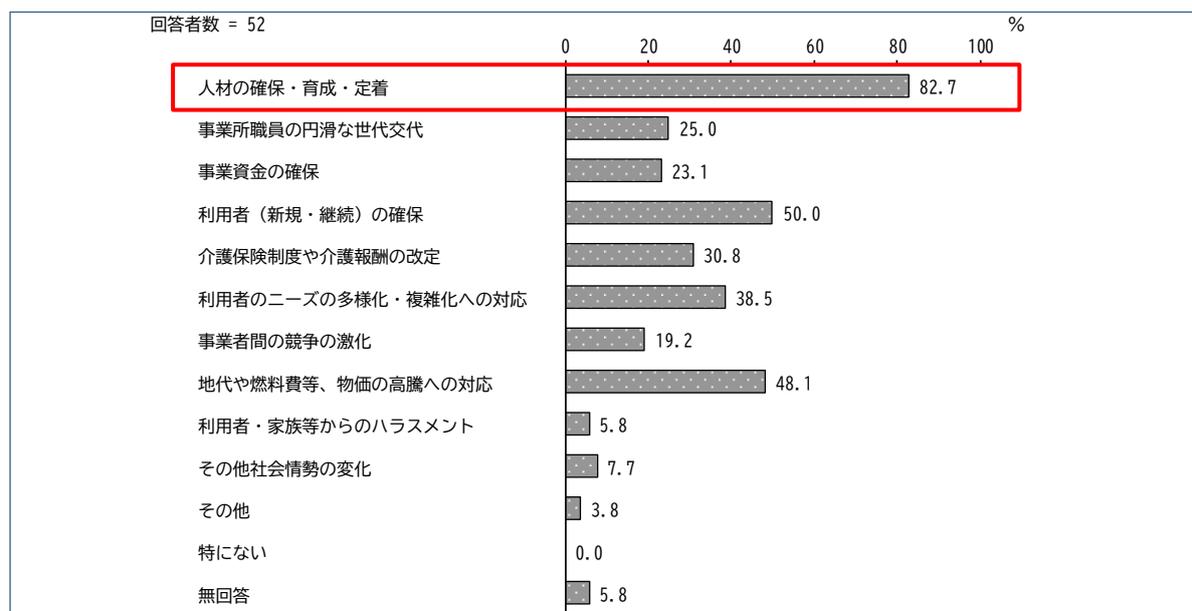
(1) 事業所の現状及び今後の課題等について

① 今後の事業継続について

問 今後の事業継続に関して不安なことや課題と感じていることはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

調査表：全事業所共通（問3）

「人材の確保・育成・定着」割合が82.7%と最も高く、次いで「利用者（新規・継続）の確保」割合が50.0%、「地代や燃料費等、物価の高騰への対応」の割合が48.1%となっています。

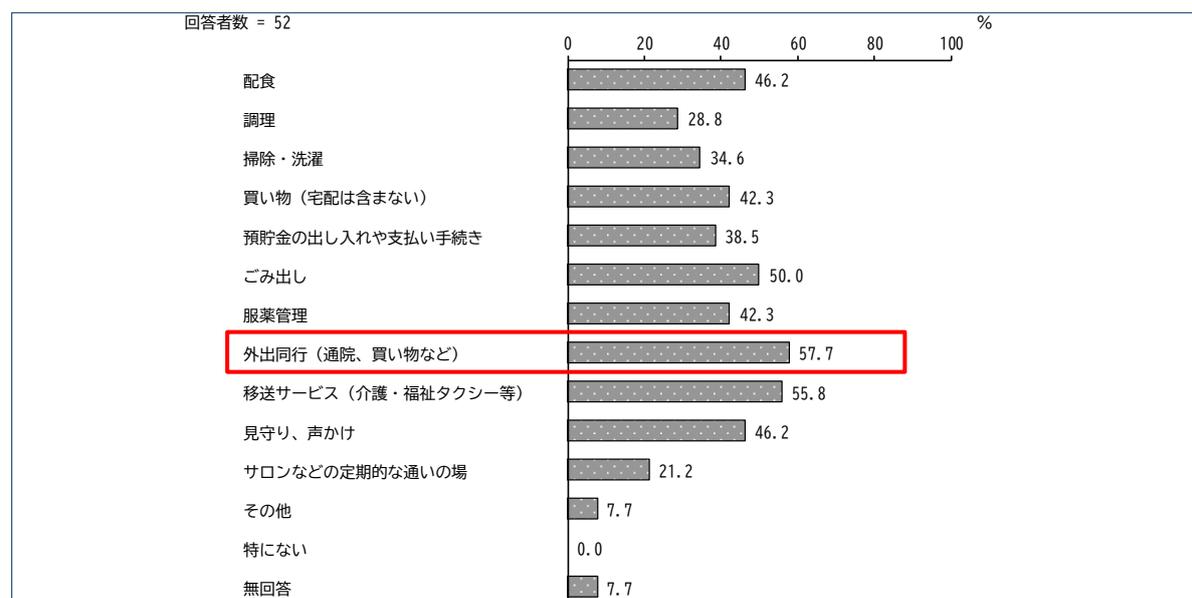


② 充実が必要と考える支援・サービスについて

問 地域での高齢者の在宅生活継続のために、さらに充実が必要と感じる支援・サービス等についてご回答ください。(〇はいくつでも)

調査表：全事業所共通（問13）

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が57.7%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が55.8%、「ごみ出し」の割合が50.0%となっています。



3 今後の分析方針について

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

<主な分析項目>

① 生活圏域別の分析

日中、1人になること、とみぱすの利用、健康づくり活動や趣味等のグループ活動の参加意向、地域包括支援センターで実施している主な事業の利用状況 など

② 年齢別の分析

介護予防や健康のため取り組んでいること、インターネットの活用状況、生きがいや楽しみのある生活のためにしていること など

③ 家族構成別の分析

近所付き合いの状況、自宅で生活を続けるために、必要な支援やサービス など

④ 経年比較

外出状況、健康づくり活動や趣味等のグループ活動の参加意向 など

⑤ 生活機能評価等に関する分析

厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく分析

機能別リスク該当者割合の分析（全体・3圏域別）

・運動器機能、閉じこもり傾向、転倒機能別リスク、低栄養傾向、認知機能、うつ傾向
手段的自立度（IADL） など

(2) 在宅介護実態調査

<主な分析項目>

① 生活圏域別の分析

主に通院している医療機関の地域 など

② 年齢別の分析

要介護度、施設等への入所・入居の検討状況 など

③ 要介護度別の分析

介護保険サービスの利用状況、利用サービスの満足度、介護者が行っている介護 など

(3) 第2号被保険者ニーズ調査

<主な分析項目>

① 生活圏域別の分析

地域活動の参加状況、健康づくり活動や趣味等のグループ活動の参加意向、地域包括支援センターで実施している主な事業の利用状況 など

② 年齢別の分析

健康のために意識していることや取り組んでいること、生きがいや楽しみのある生活のためにしていること、両親を呼び寄せて介護をする予定 など

③ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査との重複項目の分析

国必須項目、オプション項目 など

(4) 介護人材実態調査

<主な分析項目>

- ① 事業持続性の分析
経営状況、人材確保・定着の取組 など
- ② 事業所運営における課題の分析
業務効率の改善、ハラスメント対策、認知症対策 など
- ③ サービス種別の分析
施設・居住系サービス、通所系サービス別 など

(5) その他

- ・クロス集計
上記(1)～(4)の調査結果を踏まえ、家族構成、性別、年齢、圏域、前回調査との比較、調査間の共通項目分析 など
- ・共通事項の整理
回答結果については、厚生労働省「地域包括ケア見える化システム」に登録、推計ツールや各種資料を活用し、地域間比較ができるデータの作成及び登録 など

※詳細分析等の結果を踏まえ、次年度に開催予定の令和8年度第1回介護保険運営委員会において、調査報告書をもって提出予定。